

第5回「荒垣秀雄顕彰作文コンクール」

作品募集要項

【コンクールの目的】

岐阜県飛騨市（旧神岡町）出身の故 荒垣秀雄氏は、昭和21年から足掛け18年の長きにわたり朝日新聞の一面コラム「天声人語」を執筆され、テレビの時事番組への出演や多数の著書の出版を通じて世論に大きな影響を与えました。その功績に対し菊池寛賞を受賞されています。また、日本の経済成長期にいち早く環境破壊への警鐘を鳴らし自然保護活動に尽力されました。

飛騨市の旧神岡町の名誉町民として今も地域の人々の心に引き継がれている荒垣氏ですが、2018年、生家跡地に顕彰石碑が建立されたことをきっかけに「天声人語」にちなんだイベントとして作文コンクールを開催することとなりました。

かつて荒垣氏が「天声人語」を執筆していた頃と同じ800文字で、自分の考えを文章にすることで、豊かな想像力や書く力を育むと共に、荒垣氏の功績と飛騨市出身であることを皆さんに広く知ってもらい、飛騨が生んだ偉大な先達を顕彰し続けていくために、今回5回目の作品募集を行います。

【募集内容】

○テーマ「私の夢」

【応募規定】

① 小学生の部（5～6年生のみ）

② 中・高校生の部

③ 一般の部

※ 字数は当時の「天声人語」にならい800字とします。（400字詰め縦書き原稿用紙2枚）

○応募方法等

1. 応募票（コピーしても可）の各項目をご記入の上、400字詰め縦書き原稿用紙（2枚）の作品に添えて郵送してください。（文頭は原稿用紙の1行目としてください。原稿用紙へのテーマ「私の夢」の記入は不要です。氏名は原稿用紙2枚それぞれの欄外右下の余白にご記入ください。）
2. 応募作品は返却しません。
3. 入賞作品は市のホームページやひだ電子図書館などで公開します。

○応募資格

- ・賞の対象に飛騨地区内の児童・生徒枠（1点）を設けます。
- ・一般の部は、お一人1作品に限らせていただきます。

○締切 令和4年9月16日(金) (必着)

○賞

◇荒垣秀雄 天声人語賞 (提供: 荒垣秀雄氏のご遺族より)

①小学生の部 (5~6年生): 1点 (図書カード3万円)

②中学生の部: 1点 (図書カード3万円)

③高校生の部: 1点 (図書カード3万円)

◆小学生の部 (5~6年生): 特選1点 (図書カード1万円)、入選4点 (図書カード5千円)

◆中・高校生の部: 特選1点 (図書カード3万円)、入選4点 (図書カード1万円)

◆一般の部: 特選1点 (図書カード3万円)

◆朝日新聞社賞: 1点 (賞状及び記念品)

◆飛騨市長賞: (飛騨地区内の児童・生徒の応募者が対象) 1点 (賞状及び記念品)

○審査・発表・表彰式

審査の結果は、令和4年12月頃に飛騨市ホームページ及び報道機関等を通じて氏名等を発表 (入賞者には別途結果を通知します。入賞者以外の方はホームページでご確認ください。)

表彰式は令和5年2月頃に飛騨市内において予定 (入賞者には別途連絡します)

・審査員

都竹淳也(飛騨市長)、荒垣さやこ(荒垣秀雄天声人語賞審査員)、阿部英明(朝日新聞名古屋本社統括センター長)、山本正明(荒垣秀雄氏生誕地顕彰会長)、沖畑康子(飛騨市教育長)

○応募先・問い合わせ先

飛騨市教育委員会事務局 文化振興課

〒509-4292 岐阜県飛騨市古川町本町2-22 TEL: (0577) 73-7496

【主催】 飛騨市、飛騨市教育委員会

【共催】 朝日新聞社、荒垣秀雄氏生誕地顕彰会、荒垣秀雄氏のご遺族

《天声人語とは》

朝日新聞朝刊の1面に長期連載中のコラムです。1世紀以上にわたり連続掲載され、最近のニュース・話題を題材に読者へ様々なメッセージを送り続けてきた「名物コラム」です。



《荒垣秀雄氏の経歴》

早稲田大学政治経済学部卒業後、東京朝日新聞に入社。昭和14年に東京本社社会部長に就任。その後は、リオデジャネイロ支局長など海外特派員として活躍。昭和21年「天声人語」の担当となり、以後17年6ヶ月にわたり執筆され、コラムニストとしての地位を確立。昭和38年「天声人語」終筆。退社後はフリージャーナリストとして80歳代まで、執筆活動やテレビ出演を続けるかたわら、自然保護活動家としても活躍され、日本自然保護協会会長などを務められました。